



コロナに負けず、教育を推進!!!

5月、6月と、コロナの状況の変化に伴い、こども園や小中学校の対応も柔軟に変更してきました。皆様、ご理解とご協力ありがとうございます! 安全・安心を確保しつつ、子どもたちの学びを充実させるため、委員会では、家庭学習の充実も図り、タブレット端末の自宅での活用を段階的に引き下げていくことも検討中です!!!

感染予防に引き続き、ご協力をお願いいたします!!!

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

6月1日
からレベ
ル1に下
がりまし
た。

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m 程度(最低1m)	行わない	個人や少人数での リスクの低い活動で短 時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2m 程度(最低1m)	リスクの低い活動から 徐々に実施 ²	リスクの低い活動から 徐々に実施 ² し、教 師等が活動状況の確 認を徹底
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	十分な感染対策を行 った上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施



こども園・小中学校でのコロナ対策

感染状況に応じた国や県の指示をもとに、具体的な対策を行っています!!!

(発達段階により、違いがある対策もあります)

- 登校前に各家庭で検温してもらい(忘れた場合は園や学校で検温)、確認しています。
- こまめに手指の消毒を行っています。
- 座席は間隔(基本1m以上)をあけています。
- 体育以外は、マスクを着用して学習しています。
- 給食時は、静かに、一方向を向いて食べています。
- バスの乗り降り時に、手指の消毒を行っています。
- 子どもだけでなく、家族に発熱などの風邪の症状がみられる場合や、PCR検査を受けた場合は、念のため、休ませています(出席停止扱い)。
- 偏見、差別防止の指導を行っています。

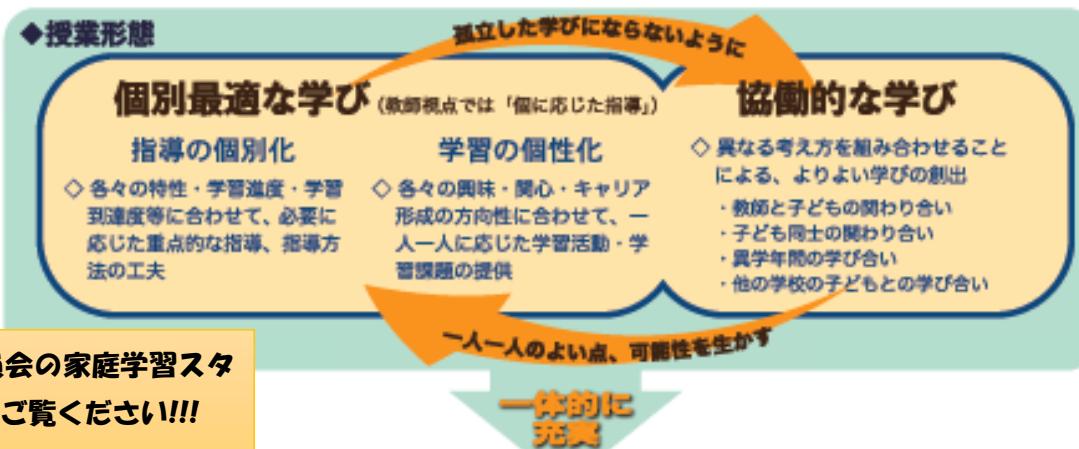
今月のミニ講座 相双教育アピール②

主体的・対話的な学びから深い学びを実現!!!



こども園や小中学校で、子どもたちにどのような学習活動を、どのように指導するかという基準である「教育・保育要領」や「学習指導要領」が全面実施となりました。こうした国による改訂のタイミングでは、目指すべき力や学びのスタイルが大きく変化します。今回は、「主体的・対話的で深い学び」がテーマ。従来は「何を教えるか」が重視されてきましたが、これからは「何を学ぶか」「どのように学ぶか」、そして「何ができるようになるか」という視点が重視されます。

相双地区では、右の図のような授業形態により、深い学びとなるよう授業指導支援をしています!!!





6月は食育月間!!!

前号でもお伝えしたように、楢葉町共通の教育課題の一つとして、残食が多く、好き嫌いが激しい子も多いということが教職員から挙げられていました。そこで、そこで、町では早速、実態調査を実施しました。そして今月は、初めて、小中学校でおいしい給食を作っている調理員さんが、こども園に出向き、調理の様子だけでなく、食事の様子を見学。その後は、意見交換が行われ、町の食育指導について話し合いました。今後も、町では学習の指導だけでなく、様々な分野で幼小中の連携を深めていきたいと思います。

ちなみに、今年度からは、小中学校でも楢葉産のお米を給食に使わせていただく予定です!!! 5年生は田植えの体験もしています。食を通じて、地元楢葉をますます好きになってほしいですね!!!



南小・北小伝統の鼓笛演奏

5月16日（日）、楢葉南小学校と楢葉北小学校の最後の運動会が行われました。コロナの影響で、今年度も地域の方々をお招きすることは残念ながらできませんでしたが、会場に応援に来たある保護者は、「自分も子どものころを思い出しました。このジャージを着てやるのは最後ですね。」と感慨深そうにお話しされていきました。この便利をご覧になられている多くの方も同じ想いだと思います。来年度はいよいよ楢葉小学校としての新しいスタートとなります。ジャージの色は変わっても、楢葉の子どもたちの力強い鼓笛演奏は続きますので、ぜひ楽しみになさってください。（コロナの収束により、多くの地域の皆様がご来場されるのを楽しみにしております!）



Q & A

Q: 来年度、小学校がまなび館に移転するにあたって、バス通学が見直されるという噂を聞きました。そうした予定はあるのでしょうか。

※これに関連し、「運動不足解消のため自転車通学にしてほしい」、「下校時に地域を歩いて景色の移り変わりを感じること自体が学び」、「大型車の通行が心配」、「バス停方式がよい」、「登校班にすれば異学年交流が進む」、「昔は徒歩や自転車の登校だった」、「雨天や冬の夕方が心配」といった様々な意見や要望が保護者や地域の方から挙げされました。

A: ご意見ありがとうございます。安全・安心を重視しながらも、楢葉町の子どもたちは体力に課題があることをなど踏まえ、検討委員会での議論を中心に、保護者や地域の皆さんのご意見も伺いながら、半年間かけて、考えていきたいと思います。

※昨年度から原則、バス通学でなくなったお隣の広野町では、原則、小学生は学校から半径2kmの距離内は徒歩での通学（集団登校）、中学生は5kmまでは自転車通学となっているそうです。



【教育委員会からのお知らせ】

「コミュニティセンターのロビーはだれでも使えるの?」というお問い合わせをいただきました。予約制ではありませんので、空いていればどなたでもお気軽にご使用になれます!!! 勉強したり、パソコンで作業したりすることも可能です。「役場に行ったついでに一休み」というのも歓迎です!!!

【編集後記】

「子どもたちのために〇〇をしたい!!!」というありがたい要望をお受けすることが増えてきました。まずは、課題のあった小学生の夏休みの活動について、新しい企画を考え中です!!! 子縁で地域団体や地域住民もどんどんつながっていくといいなと思います。（文責：楢葉町教育委員会 猿渡 智衛）